

視聴覚教育

NO. 456

発行日

R02. 3. 5

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ スマートグラス

眼鏡型の情報機器。ディスプレイ内蔵のヘッドセットを装着する没入型VR（仮想現実）機器とは一線を画す。眼鏡を通した視界に、各種の情報を重ねて表示するAR（拡張現実）や、操作できるMR（複合現実）を実現するデバイスである。5G時代に合わせて、ゲームになる可能性がある。

「令和元年度」を振り返って

学習情報指導員 近藤 雄一

新元号「令和」の時代が始まった。新しい時代の情報技術革新は、平成の時代に増して、急速に進展して行く。これからは、AI技術により知識や情報が共有され、新たな価値を生み出す未来の社会「超スマート社会」の到来となる。

超スマート社会を生きる子供のために、岡崎市では、教育の情報化に向けて毎年計画的に普通教室の環境整備を進めてきた。今年度は、全中学校にiPadと無線LAN環境が導入された。これにより、中学校ではOSの異なるタブレット端末を、授業の用途に合わせて、手軽に活用できるようになった。これにより一斉一律の授業スタイルの限界から抜け出すことが容易となった。個人の学習進度や能力、関心に応じた学びや、教室を超えた協働学習等、学びの在り方の変革を支えるものとして、今後もICT活用方法の研究を進めていきたい。

また、新学習指導要領に示されたプログラミング学習の実施に伴い、本市では本年度「岡崎市プログラミング学習モデルカリキュラム」を

活用した授業を全小学校で行った。各小学校では、先生方が前向きにプログラミング学習に取り組む姿があった。それらの授業を参観する中で、新しい学びの在り方の創造の可能性を強く感じた。同時に、しなやかに新しい学びの形を取り入れ自分のものにしていく先生方の教材研究力と実践力に安心感をもった。

さらに、本市の視聴覚・情報教育が長年大切にしてきた活動に、自作視聴覚教材の制作がある。本年度も、子供の心に響く授業を目指して、おかざき映像教材研究会が五つの教材を制作した。（下記参照）こうした本市の伝統も、大切に受け継いでいきたい。

昨年末に国が打ち出した、GIGAスクール構想。これは、校内ネットワークの高速化とタブレット端末一人一台整備を全国で推し進めるということである。これを受け、本市では、岡崎版GIGAスクール構想として整備にいち早く着手している。本市の強みは、私たち教師が、教育の情報化に向け地道な努力を積み重ね、ICTを活用した授業実践力を磨いてきたことだ。私たちは、自信をもってICTを活用した新しい学びの在り方の創造を進め、未来の社会「超スマート社会」を生きる子供を育てていきたい。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

●自作視聴覚教材が完成しました

「おかざき映像教材研究会」制作の教材が完成しましたので、2月の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを各学校に配付しました。いずれの教材も授業での使いやすさを考えて作られていますので、積極的に御活用ください。

作品・班員の紹介

A班『過疎と向き合う』

鈴木広樹（額田中） 対象 中学校二年 社会
加藤 明（広幡小） 浅井悠輔（恵田小） 猪飼美穂子（六名小）
岩川皓司（六北小） 佐渡英彰（下山小）

B班『お田植えまつりを守り受け継ぐ』

鈴木一史（竜海中） 対象 小学校四年 社会
鈴木奈穂子（新香山中） 吉田あゆみ（岩津小）
長谷川誉幸（矢作中） 河合泰宏（山中小）

C班『今あなたにできること ～自然災害から身を守る～』

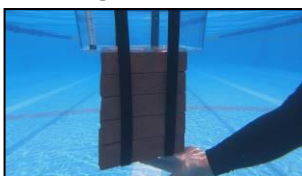
藤渕俊旭（矢北小） 対象 社会教育
渡邊智文（大樹寺小） 手嶋夕菜（羽根小） 神野裕美（六北小）
加藤周司（矢東小）

D班『浮力 ～巨石を運ぶ船が教えてくれたこと～』

（ビデオ教材 対象 中学校三年 理科）
服部将也（梅園小） 杉山康子（六北小）
徳 尚和（六南小） 矢部貴司（岩津中）
酒井雄一（六北中） 山口秀樹（竜美丘小）
森 綾子（竜海中） 今泉 力（六中小）

E班『岡崎のうつりかわり』

（マルチ教材 対象 小学三年 社会）
石谷遼一（生平小） 鈴木俊宏（北野小）
太田尚志（北 中） 矢澤舞（小豆坂小）
米澤和志（愛宕小） 石原佳世（北 中）
近藤雄一（六南小）



実践報告Ⅱ

生徒が自信をつける、英語科の個別学習

甲山中学校 杉本 抄智代

英語科の音読発表において、生徒が自信をもって行えるように、個別学習を十分に確保したいと考えた。そこで、iPadを利用することにした。

三年生では「原爆をテーマにした物語文を、気持ちを込めて音読しよう」を学習課題とした。発表の練習のために、一人一台iPadを配付し、デジタル教科書の音声聞きながら練習した。正しい発音、気持ちを込めた表現、ポーズのタイミングなど、工夫する点は多くあるが、自分のペースで繰り返し練習することができた。一斉練習ではなかなか声を出せない生徒も、自分のペースで練習を進めたことが功を奏し、自信をもって発表できていた。「これからも音読練習でぜひ使いたい」という前向きな感想が多かった。



二年生では、「自分で考えた将来の夢」と題し、アプリ「Pages」でスライドをつくった。サンプルが多く、「Keynote」よりも使いやすい。字体や色、絵を工夫し、各個人で一時間かけてページを作成した。これをテレビで提示しながら発表すると、普段、小さな声で発表する生徒も、堂々と前を向いて発表することができた。発表に対しての苦手意識は、個別学習が保証されれば消えていく。iPadとそのアプリは、これを手助けするツールとして有効だと考える。

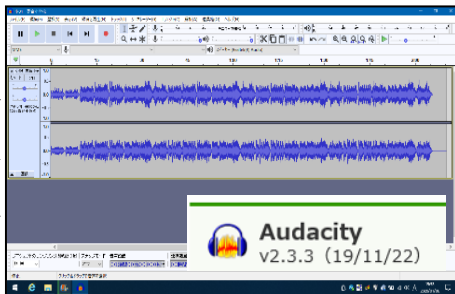
Ⅱレッツ・トライ！ICTⅡ

今回紹介するICT 音声編集アプリ「Audacity」

運動会、学芸会等で「もうちょつとBGMにこだわりたい」と思われたことはないだろうか。

Audacityは、校務用PCにインストールされているアプリで、「道具箱」の中にある。よく使われるSound Engineには無い機能があり、重宝する。

MP3ファイル、WAVファイルにも対応しており、CDから取り込んだ音源をすぐに編集することができる。音声の切り貼り、速度変更、無音化はもちろん、速度を変えてもピッチ（音程）が変わらないようにすることができる。指定した長さでフェードイン、フェードアウトができることもこのアプリの強みだ。複数の音源を別トラックに設定して同時に再生したり、ノイズを除去したりすることもでき、汎用性が高い。各種ボタンにカーソルを合わせると機能を表示してくれるので、操作は容易である。



場面に合った音声は、気分を高揚させる。あらかじめ編集しておけば、途中で止めるなどの操作も必要ない。より安心して行事本番を迎えられるのも利点である。著作物の利用の範囲に十分留意し、ぜひ活用してみてもはどうだろうか。

（美合小学校 学習情報主任 多田 結香）

ライブフリーだよ

●本年度購入の新規貸出用DVD教材の紹介

- ◇情報モラル教育関係
 - ・みんなの情報モラルアニメーションで学ぶ！

スマホにかくれた闇 (21分)

- ◇防災教育関係
 - ・それぞれの伊勢湾台風

(123分)

- ・大雨のとき気をつけること

早めにひ難するヒント (18分)

- ◇道徳関連
 - ・みんなで考えるLGBTs (全3巻)

(各20分)

- ・「特別の教科 道徳」考え方と進め方 (全4巻)

(30〜36分)

- ・シリーズ 性の多様性と人権を考える (全3巻)

(50〜60分)

- ◇特別支援教育関連
 - ・発達障害の対処法

〈当事者からのメッセージ〉(23分)

- 現在、令和2年4月から貸出できるように準備を進めています。積極的な御利用をお願いします。

- ★編集後記★

今年度一年間、実践報告やレッツ・トライへ投稿していただいたり、編集にご協力いただいたりした先生方、ありがとうございます。来年度も充実した月報作成を続けていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。